

平成28年度  
県政アンケート調査  
報告書

平成28年12月

山形県

# I 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

県民の生活と県政に対する県民ニーズ、意識などを把握し、今後の施策の企画立案並びに執行上の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の項目

- (1) 「防災」について
- (2) 「雪への対応」について
- (3) 「ボランティア活動」について
- (4) 「住まい」について
- (5) 「健康」について
- (6) 「スポーツ」について

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 県内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 : 2,500
- (4) 抽出方法 : 層化二段階無作為抽出法
- (5) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
- (6) 調査期間 : 平成28年7月上旬～7月下旬
- (7) 調査実施機関 : 株式会社東北情報センター

## 4. 回収結果

- (1) 回収数（率） : 1,539件（61.6%）
- (2) 無効数 : 0件
- (3) 有効数（率） : 1,539件（61.6%）

## 5. 調査結果の集計表示法

(1) 地域別に統計的信頼度が確保される標本数となるよう、次のとおりの標本数と抽出ウエイト、集計ウエイトとしている。

地 域	抽出ウエイト	標本数	回収数	集計ウエイト	規正標本数
村山地域	1 / 2	1, 1 2 0	6 6 4	2	1, 3 2 8
最上地域	1	3 3 8	2 0 1	1	2 0 1
置賜地域	1 / 2	4 5 3	2 6 9	2	5 3 8
庄内地域	1 / 2	5 8 9	3 4 0	2	6 8 0
不 明	—	—	6 5	1	6 5
計		2, 5 0 0	1, 5 3 9		2, 8 1 2

(2) 地域別の抽出率が異なるため、回収数に集計ウエイトを加重し規正した。調査結果はこの規正標本数を 100.0%として算出した。ただし、端数処理の関係で各項目の合計が必ずしも 100.0%とならないことがある。

## 6. 標本抽出法

母 集 団：山形県内に居住する満 20 歳以上の男女個人  
 標 本 数：2, 5 0 0  
 地 点 数：1 3 0 地点  
 抽 出 法：層化二段階無作為抽出法

### 〔層 化〕

県内の各市町村を以下の 4 地域に区分した。

村 山 地 域	山 形 市	山形市
	その他の市	寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市
	町 村 部	山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上 地 域	市 部	新庄市
	町 村 部	金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜 地 域	市 部	米沢市、長井市、南陽市
	町 村 部	高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄 内 地 域	市 部	鶴岡市、酒田市
	町 村 部	三川町、庄内町、遊佐町

※ 今年度調査については、平成 22 年国勢調査のデータを利用するものとする。

〔標本数の配分〕

各地域及び市・町村部別の層における20歳以上の人口（平成22年10月1日現在）に対し、ウエイトをつけ、2,500の標本数を比例配分した。（最上地域の抽出率を他地域の2倍とし、集計の際に他地域のウエイトを2倍とする。）

〔抽出〕

- (1) 平成22年度国勢調査時に指定された調査区を、第一次抽出単位となる調査地点として使用した。
- (2) 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が18～20程度となるように、各層に割り当てられた標本数より算出し、調査地点を決定した。
- (3) 調査地点の抽出は、調査地点数が2点以上割り当てられた層については、「抽出間隔」（層における調査区数の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。  
また、層内での調査地点数が1点の場合には、乱数表により無作為に抽出した。
- (4) 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成22年国勢調査時における「市区町村コード一覧」に従った。
- (5) 調査時点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地・字等を指定）で、選挙人名簿から等間隔抽出法によって抽出した。

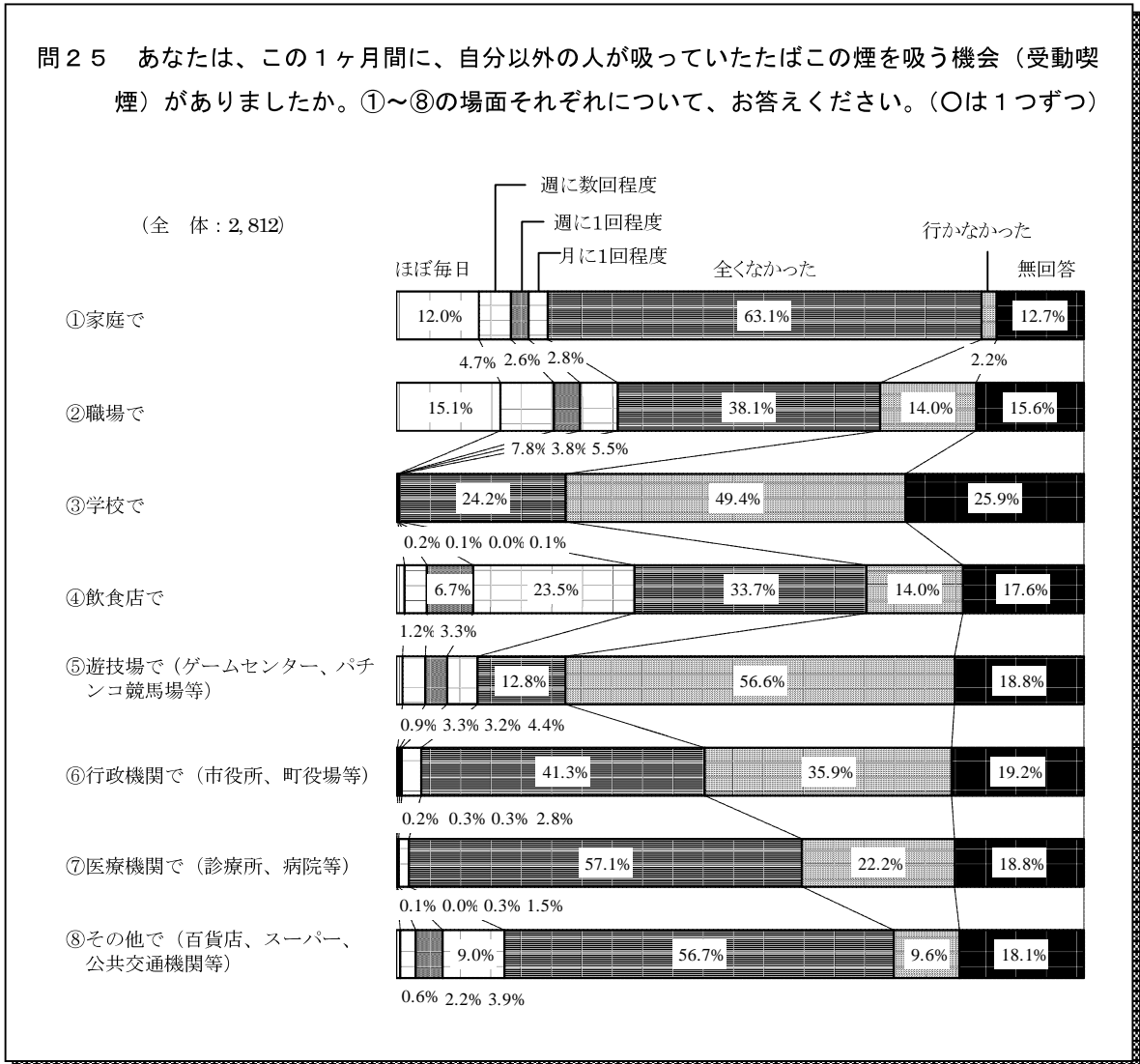
各地域・市部郡部別の母集団数及び標本数・調査地点数は次の通りである。

地域名	山形市	その他の市部	町村部	計
村山地域	207,822	189,733	65,639	463,194
	502(26)	459(24)	159(8)	1,120(58)
最上地域		31,608	38,284	69,892
		153(8)	185(9)	338(17)
置賜地域		125,562	61,954	187,516
		303(16)	150(8)	453(24)
庄内地域		204,879	38,786	243,665
		495(26)	94(5)	589(31)
計	207,822	551,782	204,663	964,267
	502(26)	1,410(74)	588(30)	2,500(130)

(注) 上段：平成22年10月1日現在の母集団数

下段：調査標本数、( )内は地点数

(5) 最近1ヶ月間の「受動喫煙」の有無



この1ヶ月間に、受動喫煙の機会があったかをたずねたところ、「まったくなかった」は「①家庭で」が63.1%で最も割合が高く、次いで「⑦医療機関で（診療所、病院等）」が57.1%、「⑧その他で（百貨店、スーパー、公共交通機関等）」が56.7%、「⑥行政機関で（市役所、町役場等）」が41.3%の順となっている。

一方、「ほぼ毎日」では、「②職場で」が15.1%と最も割合が高く、次いで「①家庭で」が12.0%となっているが、他の場面では「④飲食店で」が1.2%だが、それ以外は1.0%に満たない。

健康やまがた安心プラン <受動喫煙の機会の減少>

評価指標	現状値(H24年度)	H28年度	目標値(H34年度)	
受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	3.6%	3.6%	0%
	医療機関	2.4%	1.9%	0%
	職場	31.9%	32.2%	0%
	家庭	17.0%	12.0%	3%
	飲食店	39.3%	34.7%	15%

※県政アンケート調査において、月に1回以上(家庭の場合は毎日)受動喫煙があると回答した割合